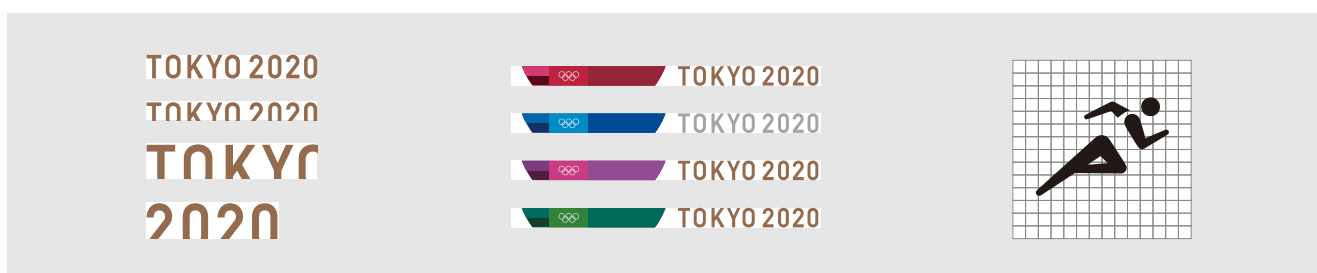
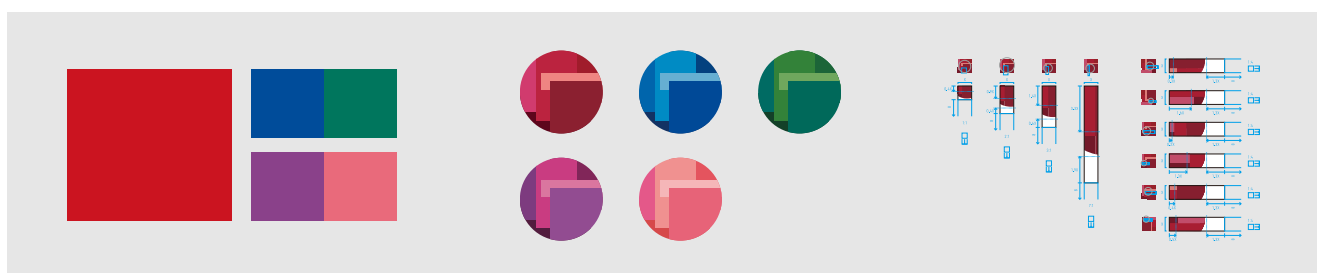
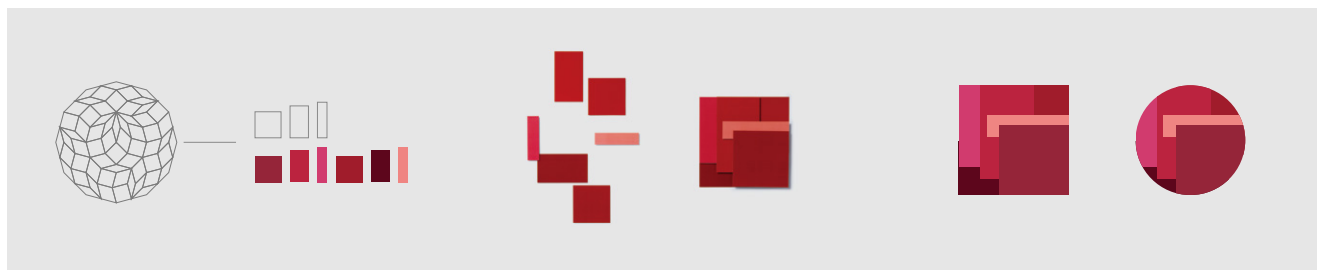




LOOK OF THE GAMES **TOKYO 2020**
2025.9.11 THU - 9.27 SAT 10:00-18:00

LOOK OF THE GAMES TOKYO 2020



本展示は、東京2020大会を担う「Look of the Games(通称ルック)」と呼ばれるデザインの記録をまとめたものです。オリンピック・パラリンピックにおける「デザイン」といえば、エンブレムやピクトグラム、メダル、聖火台、聖火リレートーチといったものが挙げられます。一方、「ルック」とは何か。それは4年に一度の世界的スポーツイベントを、一貫したひとつの世界観で視覚化するためのデザインシステムのことです。出場するアスリートを鼓舞し、彼ら彼女らに声援を送る観客と共鳴すること。また、東京そして日本を世界に強く印象づけ、多くの人の記憶に永く残るものとするのが目的です。東京2020大会をひとつのブランドと見立てた場合、イメージの醸成を担うのがこの「ルック」の役割だと言えると考えます。主に競技場の内外の壁面の装飾や映像グラフィック、アスリートや観客などを誘導するサイン、そしてチケット、プログラムといった印刷物など、世の中の人々がオリンピック・パラリンピックに触れる動線にはほぼ確実にいいほどルックが配されています。中でも、最も多くの人々が目にするのが競技場を彩るルックです。東京から遠く離れた国の人たちにとって、オリンピック・パラリンピックは、カメラが映し出したものが全てです。よって数あるルックの中でも東京2020大会を鮮烈な記憶として目に残すために、私たちルックに携わるメンバーは、競技場における装飾に関して圧倒的な熱量をかけることになりました。しかし、残念なことに新型コロナウイルスにより東京2020大会は無観客での開催となりました。多くの人たちの目に触れることを目的とした「東京2020大会ルック」をぜひ見て欲しい、デザインの意図を少しでも多くの方にお伝えしたいと考え、本展を企画しました。デザインを学ぶ学生の皆さんをはじめ本展に興味を持っていたいただいた全ての皆さまに、二度と戻らないあの夏の舞台裏を感じていただければ幸いです。そしてアスリートの気迫にあふれる競技写真を通じながら、そのプレイをささやかに見守るルックの存在を確認いただければと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。(視覚伝達デザイン学科教授 沢田耕一/ルック制作チーム一同)

2025.9.11 THU - 9.27 SAT 10:00-18:00 (最終日 16:00 まで)

会期中無休 | 入場無料 会場: 武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス2F 社会連携拠点 1/M(イチエム)

〒162-0843 東京都新宿区市ヶ谷田町1-4 武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス2F

協賛、協力団体: たちこーポレーション、TYOモンスター <https://ichiemu.musabi.ac.jp/>

MAP

SNS(X)

